

各 位



平成 22 年 11 月 9 日

会 社 名 中 越 パ ル プ 工 業 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 原 田 正 文  
( コード番号 3877 東証 第 1 部 )  
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 管 理 本 部 副 本 部 長 兼 管 理 部 長 植 松 久  
( TEL. 0 7 6 6 - 2 6 - 2 4 0 4 )

## 特別損失の発生、投資有価証券評価損の発生及び平成 23 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 業 績 予 想 と の 差 異、 通 期 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

当社は下記のとおり特別損失を計上することとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 22 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 23 年 3 月 期 の 業 績 予 想 に つ い て、発 表 内 容 を 以 下 の と お り 修 正 い た し ま す。

記

(金額の単位:百万円)

### 1. 特別損失の発生及び内容

○固定資産除却損(連結-244 百万円、個別-235 百万円)

当社及び連結子会社保有の固定資産の除却損及び撤去費用として計上いたします。

○資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額(連結-162 百万円、個別-162 百万円)

資産除去債務会計基準の適用に伴い、当社が保有する機械装置の環境有害物質の除去費用の見積額を計上したものであります。

○投資有価証券評価損(連結-288 百万円、個別 286 百万円)

詳細につきましては、下記「2. 投資有価証券評価損の発生及び内容」のとおりであります。

### 2. 投資有価証券評価損の発生及び内容

当社は、「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価あるいは実質価額が著しく下落し、その回復が困難であると認められたものについて、平成 23 年 3 月 期 第 2 四 半 期 に お い て 減 損 処 理 に よ る 投 資 有 価 証 券 評 価 損 を 特 別 損 失 と し て 計 上 す る 必 要 が 生 じ ま し た の で、お 知 ら せ し ま す。

なお、四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理につきましては、四半期洗替え方式を採用しているため、平成 23 年 3 月 期 第 3 四 半 期 及 び 平 成 23 年 3 月 期 の 各 期 末 日 の 時 価 あ る い は 実 質 価 額 に よ り、特 別 損 失 の 額 が 変 動 す る 場 合、も し く は 特 別 損 失 を 計 上 し な い 場 合 が あ り ま す。

(1) 平成 23 年3月期第2四半期の投資有価証券評価損の総額

	個別	連結
(A) 平成 23 年3月期第2四半期会計期間(平成 22 年7月1日から平成 22 年9月 30 日まで)の投資有価証券評価損の総額(=イ-ロ)	286 百万円	288 百万円
(イ) 平成 23 年3月期第2四半期累計期間(平成 22 年4月1日から平成 22 年9月 30 日まで)の投資有価証券評価損の総額	305 百万円	306 百万円
(ロ) 直前四半期(平成 23 年3月期第1四半期) 累計期間(平成 22 年4月1日から平成 22 年6月 30 日まで)の投資有価証券評価損の総額	18 百万円	18 百万円

※ 四半期における投資有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※ 当社の決算期末は、3月 31 日です。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	個別	連結
(B) 平成 22 年3月期末の純資産額	46,678 百万円	50,246 百万円
(A/B×100)	0.6%	0.6%
(イ/B×100)	0.7%	0.6%
(C) 個別は最近5事業年度の経常利益額の平均、連結は平成 22 年3月期の経常利益額	1,097 百万円	1,741 百万円
(A/C×100)	26.1%	16.5%
(イ/C×100)	27.8%	17.6%
(D) 最近5事業年度の当期純利益額の平均	300 百万円	442 百万円
(A/D×100)	95.3%	65.1%
(イ/D×100)	101.5%	69.3%

※ 「(C) 個別は最近5事業年度の経常利益額の平均、連結は平成 22 年3月期の経常利益額」の個別には最近5事業年度の経常利益(経常損失である年度は零とする。)の平均を、また「(D) 最近5事業年度の当期純利益額の平均」には最近5事業年度の当期純利益(当期純損失である年度は零とする。)の平均を記載しております。

3. 業績予想の修正について

(金額の単位:百万円)

○平成 23 年 3 月期第2四半期連結累計期間連結業績予想との差異(平成 22 年4月1日～平成 22 年9月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	50,000	1,100	700	300	2.58
実績値(B)	50,611	1,138	877	17	0.15
増減額(B-A)	611	38	177	△283	—
増減率(%)	1.2	3.5	25.3	△94.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 22 年 3 月期第2四半期)	49,498	1,273	926	407	3.50

○平成 23 年 3 月期通期連結業績予想の修正(平成 22 年4月1日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	103,000	2,500	1,800	1,000	8.58
今回修正予想(B)	103,000	2,500	2,000	700	6.01
増減額(B-A)	—	—	200	△300	—
増減率(%)	—	—	11.1	△30.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	100,406	2,421	1,741	24	0.21

○平成 23 年 3 月期第2四半期累計期間個別業績予想との差異(平成 22 年4月1日～平成 22 年9月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	43,000	700	400	150	1.29
実績値(B)	43,563	646	1,154	550	4.73
増減額(B-A)	563	△54	754	400	—
増減率(%)	1.3	△7.7	188.5	266.7	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 22 年 3 月期第2四半期)	42,732	945	619	227	1.96

○平成 23 年 3 月期通期個別業績予想の修正(平成 22 年4月1日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	87,000	1,600	1,000	500	4.29
今回修正予想(B)	88,000	1,700	1,900	1,100	9.44
増減額(B-A)	1,000	100	900	600	—
増減率(%)	1.1	6.3	90.0	120.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	86,290	1,640	953	△396	△3.40

#### 4. 修正の理由

当期の業績は川内工場パルプ生産最大化工事の完工に伴うパルプ販売の拡大などの要因もあり、売上高は横這い～微増で推移しております。塗工紙を中心とした印刷情報用紙等の販売価格の大幅下落や、新聞用紙の販売数量の大幅減少という収益悪化要因もありますが、竹入紙や里山物語など当社独自製品の拡販に努めるとともに、効率的な工場操業を実現するため工場間の移抄などの生産体制の再構築を進め、経常利益を確保できる体制を整えました。また、子会社からの配当金を増やしたことにより、個別の経常利益は大幅に増加いたしました。しかしながら上記の特別損失を計上いたしますため、当期の業績予想を上記のとおり修正いたします。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上